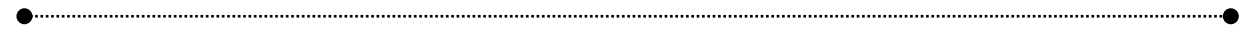


平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	あそびの森(子どもから大人のあそび活動・子どもに関わる大人の研修活動)
事業主体 (連絡先)	あそびの森実行委員会 (上田市上田 177-1-203 ☎080-4099-5353 📠0268-71-7379 事務局 清水洋幸)
事業区分	主となる区分:(2)保健、医療、福祉の充実に関する事業 関連する区分:(3)教育、文化の振興事業 (8)その他地域の元気事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,782,063円 (うち支援金:1,330,000円)



事業内容

核家族化や少子化、地域のつながりが希薄化している中で、子どもから大人までが、あそびの中で関わり合い、関わりの中にある豊かさを実感していく活動を実施。乳幼児期から学童期の子どもたちとその親や地域の大人を対象に、各年齢に合わせたあそびの場を設定し、また、異年齢での交流も行うあそびの場も開催。さらに、子どもに関わる大人向けや親対象のワークショップ・シンポジウム講演会も行い、子どもとの関わりやあそび環境・豊かな子育て環境を考え合う機会を作った。

- ①りんごひろば(乳幼児・大人)×4回
- ②わくわく探検隊(幼・小・大人)×4回
- ③あそびの劇場(異年齢・大人)×3回
- ④まち・地域・自然をあそぶ(異年齢・大人)×3回
- ⑤子育てシンポジウム(大人)
- ⑥大人向けワークショップ×3回



【まち・地域・自然をあそぶ 第3回】
IN 上田城

【目標・ねらい】

- ①関わりにおけるプラスの実感
- ②参加者の増加・継続化
- ③活動主旨の理解を広げる

事業効果

- ①あそび活動において、子ども大人のいきいきとしている姿を見ることができた。親にとっては、子どもたちの持っている発想やアイデアを目の当たりにして、改めて子どもたちの持っている力に気づくことが出来た。みんなでたくさん笑い合い、「人っておもしろい!」「人と何かをすることは楽しい!」という実感を持てた。また、親同士でいろいろな子どもを互いに見て、あそびや交流を通して楽しみ合いながら、子育ての負担感や不安を、少なくしていくことが出来た。
- ②参加者が定着し継続的に参加しながら、参加者が参加者を誘い、参加者数が増加していった。延べ485名(子ども:247名 大人:238名)の参加があった。
- ③大人が活動に継続的に参加して、活動の理解を深めながら、地域全体で子どもたちの育ちを支える気運の醸成につながった。

※自己評価【 A 】

【理由】

・参加者が定着した事に加えて、行政(教育委員会や公民館など)や子どもに関わる市民団体など地域に携わってる立場の方々への参加もあり、そういった出会いやつながりから、今後の子育てや地域の関わりのネットワーク作りに期待が持てるから。

今後の取り組み

- ・今年度を踏まえ、さらに活動回数を増加し、活動の継続化・定着化を目指しながら、関わりの豊かさを共有するつながりを増やし、豊かな子育て環境や地域づくりに貢献していきたい。
- ・活動を続け深めていくために、活動を理解し担い支えるスタッフを増やしていきたい。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある